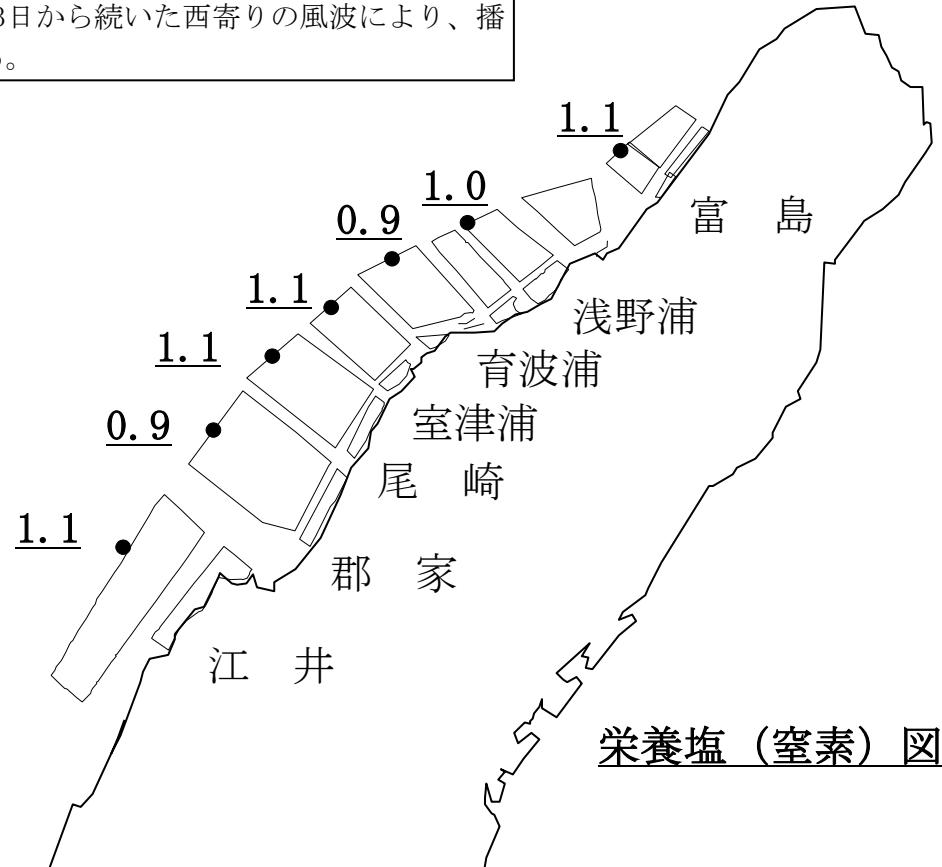


海域全般に、小型珪藻のキートセロス等が確認されています。上げ始めでの調査ということもあり、大阪湾の海水の影響は見られず、窒素は、 $1 \mu\text{g-at/L}$ 前後の値に低下しています。

(水温) 漁場平均 $10.4^{\circ}\text{C}$ 。平年比 $0.2^{\circ}\text{C}$ 、昨年比 $0.5^{\circ}\text{C}$ ともに高い。

(珪藻) 海域全般に、小型珪藻のキートセロス、ニッチア、レプトシリンドララス等が確認されており、前回(1/22)調査と比較して、発生量は大きく増加している。また、大型珪藻ユーカンピアも、全域でわずかに確認された。23日から続いた西寄りの風波により、播磨灘西部の貧栄養水塊が波及したものと考えられる。

調査日：1月31日  
潮：上げ始め  
調査時間：8:23～ 9:05



	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.7	10.4	10.2	9.9
窒素	3.2	1.0	3.0	1.5
リン	0.53	0.44	0.42	0.50

(1/22) (2/1)

